



東っ子

令和8年度 学校だより
令和8年8月31日号
十日町市立東小学校

【学校目標】 なかよく かしく たくましく

今日から2学期スタート！

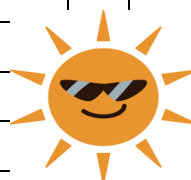
32日間の夏休みが終わり、今日から子どもたちが登校してきました。校舎には長期の休みを有意義に過ごした子どもたちの笑顔があふれ、元気な声が響き渡っています。大きな事故や事件もなく皆そろって2学期のスタートが切れたことが何よりの喜びです。異常なほどの暑さがまだまだ続く見込みで、子どもたち一人一人の健康状態が心配ではありますが、充実した2学期を目指していきます。



ところで、2学期開始直後ではありますが、お子さんのご家庭での様子はいかがでしょうか。「子どもの様子が変わる」「何かいつもと違うな」等、少しでも気になることや心配な様子がありましたら、いつも以上にじっくりと話を聞いていただきたいと思います。そして、学校へも遠慮なくご相談ください。学校でも子ども一人一人を見て気になることがあればすぐ対応し、家庭にも連絡を入れていきます。夏休み明けは、体だけでなく心の面でも変調をきたす子どもがよく見受けられます。学校と家庭とが連携して、子どもをしっかり見守っていきましょう。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。



暑い日が続きますので、登下校の際は、体調管理のため、『帽子』をかぶるようにお願いします

日	曜	主 な 予 定	日	曜	主 な 予 定
8/31	月	始業式 給食再開 全校給食後下校	17	木	東小命を守る日(地震体験車) 全校5限
9/ 1	火	上学年発育測定 全校5限放課(4年以下4限)	20	日	「家読」の日
2	水	下学年発育測定	21	月	(祝)敬老の日
4	金	夏休み作品展示(~14日)	22	火	(祝)国民の休日
7	月	PTA 三役会③18:30~	23	水	(祝)秋分の日
8	火	委員会活動⑦	25	金	相談員来校
9	水	相談員来校 CS 学校運営協議会 15:30~	 暑い日が続きますので。 熱中症に気をつけて教育活動を進めていきます。		
10	木	スクールカウンセラー来校 全校集会(学級委員任命式/意見発表)			
15	火	クラブ活動③			
16	水	看護学生実習			

授業日数:19日 給食日数19日

◎校内夏休み作品展示 期間: 9月4日(金)~14日(月)

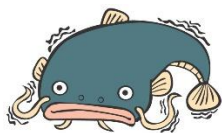
会場: 全学年・3階 視聴覚室

◎都市発明工夫模型生物標本展 期間: 9月12日(土)PM~9月14日(月)AM

※最終日は午前のみ 会場: 千手コミュニティセンター



※例年、9月下旬は5・6年生全員参加による「親善陸上大会」が行われていますが、今年度は陸上競技場の改修工事に伴い11月開催予定となっています。



9月17日(木)は「東小 命を守る日」



「東小 命を守る日」は、「地震想定訓練」及び「地震体験車体験」を実施します。

熊本で大きな地震災害がありましたが、ここ十日町でも20年前には中越大震災を経験しました。いつ訪れるか分からない地震災害に向けた学習の充実を図っていきます。



「東っ子 わく^{わーく}Workお手伝い」継続のすすめ

夏休み中のご家庭でのお子さんのお手伝いの様子はいかがだったでしょうか。夏休みが終わりましたが、これからもお手伝いを継続して行ってほしいと願っています。

子どもはお手伝いをすることでいろいろな経験をします。以前にも学校だよりでお伝えしてきましたが、お手伝いの主な効果をあらためて紹介します。

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| ◎相手から感謝された時の嬉しいと感じる思いを抱く | ◎自信がつき、責任感が強くなる |
| ◎達成感を味わえ、自己肯定感・自己有用感が上がる | ◎段取り力が身につく、考える力がつく |
| ◎自立する力がつく | ◎リーダーシップ力が身につく |
| ◎お手伝いを通じて親子のコミュニケーションが深まる | ◎家事の軽減につながり親も助かる |

子どもがお手伝いを通して成長していくためには、保護者の関わり方が大切です。

◇「できたこと」に着目して感謝しましょう

手伝う気持ちを大切にするために「できないこと」に着目せず「できたこと」に着目します。そして、「ありがとう」と感謝することや「上手にできたね」と褒めてあげましょう。

お子さんが達成感や満足感を味わい、それが自信につながることでしょう。



◇「待つこと」が大切

初めてするお手伝いは、うまくできないことかもしれません。もし、うまくできなくても、すぐに手伝おうとせず待つようにしましょう。お子さん自身で、どうしたらできるのか考えることも必要です。お子さんの気持ちを考え、タイミングを見定めてヒントを出してあげるものいいでしょう。

◇責めないように

子どもがすぐに上手にできないのは当たり前です。「どうしてこんなこともできないの」と責めると自信を失ってしまいます。まずはどうすればよかったか一緒に考えてあげましょう。場合によっては一緒にやり直してあげてもよいでしょう。

◇他の子ども(きょうだいや友達)と比較しない

時に子育てをしていると、周りの子どもと自分の子どもを比較してしまうかもしれません。しかし、それぞれ個性があるので、できる・できないに違いがあって当然のこと、お子さんの意欲が失われないように、他の子ども(きょうだいや友達)と比べることは避けましょう。

お子さんによってできることは様々です。しかし、できないからと焦る必要もありません。できることを認めながら親子で一緒に楽しくお手伝いをするのが大切です。親子でお手伝いを通したコミュニケーションを楽しみながら、お子さんが成長していく手助けをしてあげてほしいです。

（「ベネッセ教育情報」市川由美子監修資料 参照）